

光環境の測定のレポートについて

2年生段階でのレポートでは、また2回目のレポートと言うことを考えると、皆さん非常に良いだと思います。それ故に、逆に要求が高くなってしまいかもかもしれませんが、下記に、気が付いたことなどをまとめておきます。

- 1) やはり、「はじめに」や「測定の目的」などの最初のところは、できるだけ自分なりに、しかもできるだけいろいろと書くように努力を継続しましょう。
- 2) 単位、出典、図表のタイトル（位置も含めて）などの決まり事も忘れずに。
- 3) 人工照明の実験で、黒板の前の1列の照明を消した条件でも測定を行いました。これはどのような意図で行ったのでしょうか。折角、実験計画を立てる段階で、上手くできたのに、その後の考察で活かしていますか。
- 4) 様々な指標の意味と基準の意味をよく考えてみましょう。どういう時に、どのような意味を持った指標を使うのか。どのような基準を使えばいいのか、など。
- 5) ある基準に照らして、評価を行う際には、レポートだけ読んで（他の文献などを読まずに）、読み手もその内容がわかるように書きましょう。
- 6) これも継続しての話ですが、図表のタイトルはタイトルを読んだだけで、どのような図表であるのかわかるように工夫して下さい。また、図表の見方も簡単で良いから言葉で説明しましょう。例えば、「一の結果を、図1に示す。」「図1に、一の結果を示す。」などでも充分です。
- 7) これも継続しても話ですが、一番時間をかけてもらいたいのは、考察の部分です。様々な図や表を作ったり、参考文献を読んだり、内容を深めて下さい。どうしてそう言えるのか、どうしてそのような結果となったと合理的に推測できるのか。読み手を説得する材料を揃え、順番に話を進めましょう。